

未来への遺産を創造する ハートフルコンストラクター 荒牧組



↓ここをクリック
過去の [社長の雑談](#) ^

<運動会> H22.9.11

来年入学する孫に、氏家小学校から運動会の招待状が来ました。

ついこの間、自分の子供達の運動会だったと思ったら、もう孫が小学生・・・う～ん、時の流れはほんとうにあつという間です。

孫の走る姿に、少しウルとしてしまいました。30年前の運動会が青い空とともによみがえって来ました。

しかし、ひと昔前の運動会ってこんなに暑かったかしら？あまりの暑さに、孫の勇姿を見て、即ひき返してしまいました。

<ギターの調べ> H22.9.1

先日、村治佳織のCDを友人から頂きました。

ギターの音色は好きで、折々に聞いてはいたのだが、改めてクラシックギターにどっぷりとかってみました。

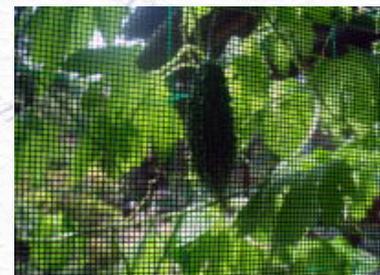
ピアノもそうですが、ギターって、1本でこんなにきちんと成立する楽器なんだと、改めて関心しました。本当に、小さなオーケストラですね。夫もマンドリンなどやっていたので、ギターには特別なものがあったみたいです。

バックグラウンドとして聞いてもよし、耳をすまして、ほんの小さなささやきを聞いてもよし、今のところ私のおやすみタイムの音楽となっています。

さすが、村治佳織スバラシイです。

<ゴーヤ その3> H22.8.20

すっかり緑のカーテンです。本当にこの夏の暑さを緩和してくれています。



<雑談> H22.8.18

どんな社会の中に入っても、どんなかたちかで「会議」と呼ばれるものがあります。

これって、もちろん必要だから生まれたものであるのですが……。どうも私には納得のいかないものばかりであります。

我が社でも「なんとか会議」なるものを行ってはいるのだが。建前はいいが、本音は？というところですね……。

会議が終わってから「本当はこう思うんだが」と言われたひにや～。

いつも思うのですが「雑談のなかに本質がある」と、私つねづね思っています。

<線香花火> H22.8.17

今年の夏は、玄関先で孫たちと花火をいっぱいしました。なぜ、玄関先かと言うと、中庭は蚊がいっぱいという理由です。

子供花火も、だいぶ色々な種類があるようですが、やっぱりあのかわいい線香花火がいいですね。小さな火薬玉から出てくるなんとも美しいパチパチは、小さな芸術品です。玉が落ちない様に、ほんのしばし集中しないとイケないあの感覚も楽しみたいです。

☆線香花火も奥が深く、花火屋さんの長年の経験が生んだ芸術品です。火薬の原料と配合比、紙綴のより具合など、すべてが揃って最高のものとなるのだそうです。

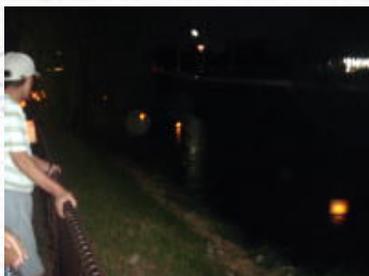


<灯ろう流し> H22.8.16

今年はずじめて、草川の灯ろう流しに行きました。

草川の流れの中を、次々にゆったりと流れる灯ろうを見ていると、本当に癒される思いがいたしました。お念仏もレコードでなく、本物のライブで、ものすごい臨場感たっぷりでした。川の流れもほどよく、とても風情があり、感動ものでした。

これから毎年見せて頂きたいと思いました。我家の孫たちは、来年はもっと立派な灯ろうを作ると張り切っています。



<ゴーヤ その2> H22.7.19

1ヶ月前に植えたゴーヤが、こんなになってしまいました。植物の生長はものすごいです。

本当に西日対策になり、なんとなく涼しい気がします。

やっと、ひとつ5cmほどの実をつけました。娘のところの同じ苗のものは、もう食べられるほどになり、お祭りの食卓にもチャンプルーとして登場しました。



<お祭り> H22.7.17~18

今年のお天王祭・商工会祭も無事に終了しました。2日間とも天候に恵まれ、すごい人出でした。

お祭りを境に急に気温も上がり、夏本番のようです。



<ゴーヤ> H22.6.13

茶の間の前にゴーヤの棚を作りました。

鉢植えが2本なので、はたして大きくなるか心配ですが…。まずは、こんな感じです。真夏の暑さ対策となるのでしょうか…。

昨年、娘のこのゴーヤは沢山実をつけて、昨夏はずいぶん炒め物やチャンプルーとして、いただいたのですが。





<つるバラ> H22.6.10

妹にバラの花束をもらいました。つるバラの種類で昔からあるバラなのですが、これぞバラ色と言える素晴らしい色と香りです。

ぎっしりと花びんに生けました。あまりきれいなので、その本体を見に行きました。大輪のバラもいいが、大きく枝を広げ、ぎっしりと花をつけたそれは素晴らしく、しばらくお花見をして来ました。

私も植えっぱなしのつるバラを何とかしなければと思っています。



<初鮎> H22.6.6

今日は、鬼怒川の解禁です。剛くんが大漁のあゆを持ち帰りました。那珂川の解禁日には、仕事で行けなかったせいか、その分までもおいに釣れたようです。

お陰さまで、鮎のお初を頂くことができました。塩焼きと鮎ご飯にしました。まだ少々小さめでしたが、あの独特の香りとほろ苦みがとても美味でした。



<クローブピンク> H22.5.18

昨年すこし根分けをしたせいか、今年はみごとに咲きそろいました。このクローブピンクは、甘いスパイスの(りんごのような)香りを放ち、5月のさわやかな風と相まってとても素敵です。



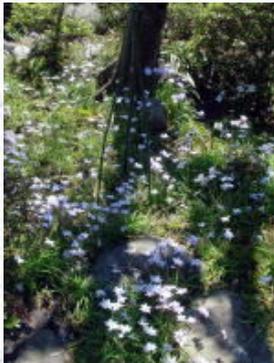
<お花見> H22.5.17

5月も半ばになり、だいぶ安定したさわやかな気候が続いています。1ヶ月ほど我家に居た孫も帰宅し、無事に成長を見届けられて、ホッとしているところです。

赤ん坊の成長は素晴らしく、どんどん、グングンと日ごとに大きくなって行くのが、毎日見ても分かります。何だか衰える一方の私の中にも、いっぱい活力を頂いた様な気がしています。「あかりちゃん ありがとう！」



そんなわけで、連休もどこへも出掛けられませんでした。5月の庭は、だまっいても花々が咲き乱れて、自宅の庭でも充分にお花見が出来ました。





<ことしの桜・草川沿いのしだれ> H22.4.21

昨年よりもまた大きくなった様な気がします。

草川べりをゆっくりと歩いてみるのもとてもいいです。結構な距離があるので、とても楽しめます。



<ことしの桜・氏家小学校> H22.4.18

涼しい日が続いたせいか、桜も足ぶみのようです。ずいぶん長い間、楽しませて頂きました。

私は、お陰で、毎日のように氏家小学校の桜を堪能しました。



(雪どけの水たまりの桜)



<3人目の孫誕生> H22.4.8

今日は、肌寒い陽気が一変して、光り輝くような明るい日になりました。

3215グラムの元気な女の子が生まれました。(次女の子)

生まれ出たその時に立ち会う事が出来、とても幸せな気分でした。新しい命の誕生は、言葉には出来ない感動と喜びに満ちています。

生まれて来てくれた感謝とともに、これからの人生、どうか良き道を選びとって、少しでも悔いのないように……と祈る”バアバのキモチ”であります。



<椿> H22.3.24

妹がいつもこの季節になると、沢山の椿を届けてくれます。椿は造形美という点では一番ですね。ハラリと落ちる花にもいさぎよさがり、とても好きです。

椿といえば、ヤブツバキ、利休ごのみの侘助(わびすけ)、西王母(せいおうぼ)、太郎冠者(たろうかじゃ)など、お茶席にかかせないものですよ。

我が家の、私が植えた唯一の玉霞(たまがすみ)は、今年ひとつも咲きませんでした。なんでなのか分かりません。しぼりのとても美しいものなのですが。



<彼岸> H22.3.23

暑さ寒さも彼岸までとはよく言ったもので、すっかり暖くなりました。連休中も、まあまあの天気でしたが、中国方面から黄砂が飛んできたり、花粉が飛びまわったりで、アレルギーの人でなくても春の嵐には、ちょっと困らせられました。

お彼岸中、我家のお墓、実家のお墓、親戚のお墓参りもしましたが、どこもお墓が花いっぱいの風景は、なにか心和むものがあります。

小さい子供連れでのお墓参りなどの様子などを見ると、まだまだ世の中は大丈夫と勝手に安心などしております。

<ローズマリー> H22.3.11

久しぶりにのぞいたら、ローズマリーが美しい青色の花をいっぱい付けていました。

いつのまにか、私の背丈をこしてしまいました。葉の流れにそって軽くにぎってやると、素敵な香りを体中にいっぱい頂ける感じがします。



<春が来て>

昨日までの寒さはうその様に、今日は本当に暖くなり、体も心も少し和んでいる様です。

もうすぐ年度も終わり、新しい季節を迎えようとしています。

私自身も夫のいない2年を何とか過ごしてまいりました。しかし、まだ、夫が居ないという事実を受け入れる事が出来ず、本当に困ったものだと思っています。

年齢に関係なく、私と同じ状況の人は数かぎりなくいらっしゃるのでしょうか……。

今まで、夫に、あまりにも頼り過ぎていた自分を反省しながら、夫の居ない酸欠状態の自分と

日々戦っています。

<雛めぐり> H22.2.15

氏家雛めぐりが、13日から始まりました。

我が家は2年ほどお休みをしてしまいましたが、今年からまた観て頂くことに致しました。

お雛さまを出すのって女の子なら誰でも経験するでしょうが、とてもワクワクしますよね……。という訳で、私も娘の休日を待って、皆で飾り付けをしました。



姉が生まれた(戦時中、昭和19年)時のもの。



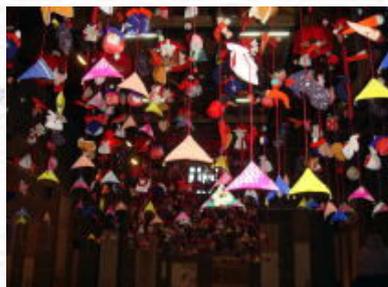
長女(昭和50年)の立ち雛。



孫の平成雛。

今年は、どこを歩いても、つるし雛がとても美しいみたいです。

つるし雛は、桃・唐辛子・三番そう・おかたごろ・猿っ子・柿・這い子人形・三角・巾着・うさぎ・ほおづき・金目鯛・亀と鶴・俵のねずみなど……。古布やちりめんなどで作り、吊り下げるものです。それぞれに意味があり楽しいものです。



<18年> H22.1.17

今日は、父の祥月命日です。

「お墓はカチカチに氷っていましたよ」と、午前中に塩原の妹夫婦が来てくれました。私達も、午後にお墓参りをしたのですが、お花を入れるのがやっとの寒さでした。

あの年は、何だか寒かったのかどうかの記憶がありません。

末娘は、たいへんなおじいちゃん子だったので、今でも父の話をするとうるっとなる様です。「私、小6の時だったんだ」「あ～、私は毎日おじいちゃんとパンを持って、役場の鯉を見に行ったなあ」などと長女……。あ～もう18年にもなるのかと、そんな話を皆で話しながら、父を偲びました。

私も父とは、17年間暮らしましたが、父への感想はと言うと「本当に穏やかで優しいひと」という印象しかありません。でも、今しみじみと思うのですが、本当は「真に男らしい人」だったんだなあ、感じている日々です。

<大パノラマ> H22.1.16

今日は、この冬一番の厳しい寒さのようです。

午前中に用事を済ませたいと思い、9時ごろ宇都宮へ車で出かけました。

阿久津大橋の上からは、雪の日光連山、那須連山が一望出来、素晴らしい眺めでした。南には筑波山がくっきりと見え、大パノラマの様な風景でした。

こんなにスッキリと晴れ渡っている景色は、そうは見る事がないので、感動でした。

<新しい年に> H22.1.5

このお正月は、本当に穏やかな日々を過ごさせて頂きました。

明日は仕事始めです。「明日から仕事かあ～」と末娘、孫たちも出かけてしまい、少し家の中を片付けて「ちょっと出掛けない？」ということになり、北の方へ車も走らせました。

矢板を過ぎると、車の中でも分かるほど、どんどん冷え込んで来ます。少し寄り道をして、お目当てのカフェに到着しました。もう外は真っ暗です。部屋の中は温かく、コーヒーの香りに満ちていました。誰の曲か分からないが、チェロソナタが流れていました。「何だか根っこがはえちゃうね・・・、あらジャズになっちゃったね・・・」などと言いながら……。

いつの間にか窓の外は雪が舞い降りていました。降りしきる雪をながめながら、「どうか今年も穏やかな一年でありますように・・・」と祈らずにはいられませんでした。

皆様、今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

<大晦日> H21.12.31

今日は、母の祥月命日です。

子供達とお墓参りに行って来ました。去年の事などを思い出し、いろいろな事があり、大変な一年でありました。大晦日に、皆でお墓参りが出来、何だかホッとしました。

そのあと、皆で蕎麦を食しながら、思い出話をいたしました。母に一年間の感謝をして、新しい年を迎えたいと思います。

<花嫁の母> H21.12.25

長女を結婚させた時は、ホッとしたという思いが強く、3人娘の母親として「ハ～イー丁あがり」という感じでした。

次女は、はい次ね、という感じかなあと感じておりましたが、何だか”ちょっとちがうぞ”ポカッと穴があいた様な、そんなとても複雑な気分です。きっと父親の気持ちってこんなかしらと、少し遅まきながら感じ入っております。

娘3人を全員嫁に出してしまった友人が「ほんとうに女の子ってやっぱり損した気分だよ。やっぱり嫁をとる男の子がいいよ～」って言っていました。何だか少し分かる気持ちがしました。

まあ、ともあれ、ひょっとしたらお嫁に行けないかも・・・と思っていた娘が片付いてホッとしている母であります。

披露宴には、本当に皆様のお陰で、無事に終える事が出来、感謝感謝でいっぱいです。本当に、有難うございました。

<桜守体験> H21.12.6

今日は、暖かい小春日和です。

昨日、オーナーになった荒川の桜つつみの「桜守体験」へ参加して来ました。ちょうど、夫・新一が亡くなった時に植えていただいた桜なので、ちょっと特別な感が致します。

あれからすっかり大きく育ち、来年の花芽がいっぱい付いていました。樹木医の田中秀明先生の説明もとても分かりやすく、桜についての知識がまたひとつ増えた様な気がしました。

今回の体験は、施肥をするということで、スコップなど持参の参加でした。土が硬く、ジャリの土で、掘るのに苦労しましたが、よい体験をさせて頂きました。

市の活動としての「桜の郷づくり」ということですが、これから鬼怒川・荒川と、年々益々、よい桜つつみになる様な気が致しました。



<紅葉> H21.11.28

山から下へ下りてきた紅葉が、いま里は本当に綺麗です。今年は、ことのほか、いつもより美しい気がします。赤はより赤く、黄はより黄色く、すべての落葉樹が競うように色づいています。

今日、宇都宮の帰り、日光街道から293号線を帰って来たのですが、日光街道のもみじがとてもキレイでした。カメラを忘れてしまったのが、残念で仕方ありませんでした。

293号線沿いの里山も、晩秋の午後の陽ざしに黄金色に染まっていました。逝く秋への最後の輝きの様な美しさでした。



宇都宮文化センターの銀杏



草川道路のかえで



<晋山式 (しんざんしき)> H21.11.21

今日は、我が家の菩提寺であります西導寺二十七世住職の晋山式がありました。

昨日まで、はっきりしないお天気でしたが、今日は抜けるような青空です。そのなかで行われた式典は本当におごそかで、華やかで、とても感動いたしました。

お父上の前住職の祐孝先生のときは、私はまだ氏家に来ていませんでしたので、今回初めて晋山式というものを見せて頂きました。

運よく、2人の孫たちも稚児行列に参加出来、本当に幸運だと思っております。

明英和尚のこれからの益々のご活躍をお祈り致したいと思います。

☆晋山式とは

新しく住職となる者が、初めて住職として寺院に入る儀式で、西導寺の本尊阿弥陀如来さまに住職就任の報をする法要のこと



☆写真の続きは、次回の更新時に、また載せることにいたします。お楽しみに。

<老人性??> H21.10.26

ここ最近、「聞いてない」「言ったよ」と娘たちと、けんかがたえません。

3対1、2対1で私のマケだらけなので……、これっていったい何なんでしょうね。最近、自分がちっとも信用出来ません。これってほんとうに老人性?……いや~ちゃんと覚えている事もいっぱいある。

結局、覚えているという脳の許容量の問題ですね、と自分で言い訳をしています。ちゃんと書き止めておいた事は、メモを見なくても憶えている様です。フワッと聞いている事はダメみたいで、いずれにしても困った事です。

先日、茂木健一郎さんが言っていました。「昨日の事を思い出してメモを取るといい」そうです。要するに、頭を使っていないと老化が早く進むという事ですね。ウーン昨日の事って意外に憶えていない……、どうしよう。

<つわぶき> H21.10.21

今年も、つわぶきがきれいに咲いてくれました。



<祝☆優勝> H21.10.20

昨日、氏家中学校野球部が県大会で優勝しました。私の記憶では、今までにない快挙のような気がします。

我が社のK夫妻のご息が、レギュラーで活躍をしたので、会社の中でもおおいに興奮いたしました。

何かにトップになるって、中々難しいことですよ。

良い指導者と、子供達の努力と、保護者の人達の熱い思いの結晶が、良いスパイラルを生むんだと思います。

どうか、来月の関東大会でも、リラックスして頑張ってもらいたいと思います。

<お祭り> H21.10.19

今日は、今宮神社のお祭りでした。白馬や天狗さんに興奮ぎみの孫たちと、行列のあとを追いかけて見物させて頂きました。





<結婚式 2> H21.10.11

今日は、我が社のBさんの御子息の結婚式でした。

二日続きのおめでたい事など中々ありませんよね。心地よい疲れとでも申しましょうか。久しぶりにととてもホットな心で満たされている感じです。

今日は、教会での式でした。聖歌隊の生の声での式も素晴らしく、とても感動いたしました。

披露宴も、久しぶりにいっぱい泣かせて頂きました。学生時代にお見かけした可愛い彼が、立派に成長されていました。同じ親の目線で、とても感慨深い、とても素敵な嬉しい結婚式でした。

本当におめでとうございました。

<結婚式 1> H21.10.10

次女が結婚いたしました。披露宴は後日なのですが……。

両家の菩提寺であります西導寺で挙式をして頂きました。ほんとうの身内の式でしたが、和やかで温かで、本当に感激いたしました。大勢のご先祖様、仏様の大きな守りに抱かれている様な感じのひと時でした。

「行華(あんげ)……二人が仏前にお花を供える」という礼拝のときの明英和尚の「しちりき」の演奏も素晴らしく、すごいインパクトで感動いたしました。

仏前の結婚式って初めての経験でしたが、とても良いものでした。皆さんにもお勧めしたくなりました。



BACK